

被爆から 80 年、世界の平和を ひろしまの若者と紛争影響を受ける国が 対話します！

- ✓ 被爆 80 年を節目とした取り組みとして、戦後復興および災害復興を経た日本がどのように平和を継承しているのか、若者は平和についてどのように考えているのか等、「平和」について一緒に考え、参加者全員で意見交換します。

- ✓ 広島の高校生・大学生と 12 か国の紛争地域の行政官(*)が参加し、広島市立大学広島平和研究所がファシリテーションを行います。

参加国:エチオピア、リビア、ナイジェリア、パキスタン、パレスチナ、ソマリア、南スーダン、スーダン、ウガンダ、ウクライナ、イエメン、コロンビア

ファシリテーター : 広島市立大学 広島平和研究所 梅原教授

サブファシリテーター: 広島市立大学 広島平和研究所 森上講師

(*)国際協力機構(JICA)が実施する研修として、紛争影響国の行政官が、日本の地方行政制度の役割や機能、平和構築促進について学び、それぞれの国における課題解決に寄与し得る教訓を習得することを目指します。

ぜひ、取材をご検討ください。

なお、取材いただける場合は、下記問い合わせ先まで事前にご連絡ください。

- 研修コース名:課題別研修「地方行政能力強化(紛争影響国における地域社会再建)」
- 日 時:2026 年 1 月 22 日(木)17:15~19:00
- 場 所:おりづるタワー10 階「エソール広島」(広島県広島市中区大手町一丁目2番1号)
- 参加研修員:JICA 研修員 14 名(予定)
- 参加学生: 日本人高校生・大学生 14 名(予定)

【本件に関する問い合わせ・申込み先】	
JICA 中国 研修業務課 担当: 松本 TEL: 082-421-6310 FAX: 082-420-8082 E-mail: cicttp@jica.go.jp	地域から世界へ、世界から地域へ 元氣をつなぐ JICA 中国 JICA 中国ウェブサイト 